

「豪雪」 大山町を襲う おそ

大山町災害対策本部を1月1日に設置

12月31日から、2日にかけて県中・西部を中心に記録的な大雪が降りました。国道9号は、琴浦町から大山町の間で約1000台の車が立ち往生。バスやJRをはじめ公共交通機関もまひし、断続的に降り続ける雪のために除雪も追いつかない状況が続きました。町道は雪に埋もれ、平田地区をはじめ町内各地

で停電や断水が発生、倒木による通行不能、雪害による農業、漁業への被害も発生しました。

本格的な厳冬期を迎え、降雪への警戒はまだまだ続きます。今回の豪雪での反省点を検証しつつ、除雪体制・連携体制の課題解決に取り組んでいきます。



1月1日・松河原交差点 上空からの様子 (共同通信社提供)



③町内各地で停電が発生し、懸命の復旧作業が行われた。(平田地区)



①

①降り続ける雪のために国道9号で大渋滞が発生。迂回もできず、動かない車中で夜を明かし、新年を迎えることになった。
(1月1日・中山支所前)



②

②県の要請を受け、陸上自衛隊が派遣された。燃料が不足している車に燃料の補給、除雪や動けない車の移動支援をした。